

齋藤瀏 さいとう りゅう 歌人。明治十二年四月十七日長野縣生れ、昭和二十八年七月五日没（八七九一五三）。嗜好二空。明治二十二年陸軍士官學校卒。日露戦争に従軍し、二十九年陸軍人學校卒。昭和二年少將、五年豫備役編入、十一年一・二六事件に連坐して下獄。歌誌『心の花』同人を経て、十四年『短歌入』創刊主宰。歌人齋藤史は長女。

著書『萬葉名歌鑑賞』（昭和十年六月、千台京都・人文書院）、歌集『波濤』（昭和十四年七月、二十八日京都・人文書院）、『惡童記』（短歌と隨想）（昭和十五年八月十日、二香堂）、『わが悲懷』（昭和十七年二月十一日那珂書店）、『萬葉のこころ』（昭和十七年五月十五日朝日新聞社）、歌集『四大雲晴』（昭和十七年五月、二十日東京堂）、『防人の歌』（昭和十七年八月、二十日東京堂）、『無鋒録』（昭和十八年二月十五日那珂書店）、『信念の書』（日本世界觀・指導原理）（昭和十八年四月、二十日東京堂）、『名婦評傳』（昭和十九年一月、二十五日京都・人文書院）、『皇國人の道姿』（昭和二十年七月十五日日聖書店『勳賞筆法叢書』）、『光土』（昭和二十一年十一月、二十日八雲書店『新日本歌集』）、『自然と短歌』（昭和二十一年五月、二十日京都・人文書院）等。

